

YAMAGUCHI未来博開催が決定！



あの日の
感動を
3つの
観点

4月10日、附属山口中学校の体育館であった重大発表は、直接発表を聞いていた中学生を衝撃の渦に巻き込んだ。発表されたのは、前回の日本からさらに焦点を絞り、山口県をテーマにした「YAMAGUCHI未来博開催」というもの。昨年、多くの人を感動の嵐に巻き込んだ附中万博だが、今年はやまみい博という形で開催されることに、生徒は喜びを爆発させていた。2日間にわたって開催される万博。初日は「NYM」（ニューヤマグチタイムズ）、2日目に「YFC」（やまぐち附中カップ）が予定されている。

今年も去年に引き続き、3つの「SHOW」が鍵となる。3つのSHOWとは、「笑、招、衝」のことで、人を笑顔にする「笑」、企画を作り人を招く「招」、人々に衝撃や感動を残す「衝」で構成されている。3つのSHOWを意識すると同時に、一人ひとりが山口の良さとは何か、山口にはどんな未来が待っているのかなどを視野に入れながら制作・活動をすることで、作ったその企画がいや、やまみい博全体がよりよいモノへと変わっていくことだろう。学園祭学習を通して、生徒の一生懸命さが伝わってくることを、今から期待している。

今後の日程

5月27日	5月31日	6月4日	6月11日	6月14日	6月17日	6月18日	6月19日	6月20日
preparation③④	preparation⑤⑥	preparation⑦	表現① YFC学年練習①	表現② YFC式典・学年種目	表現③ preparation⑦	表現④⑤ YFC学年種目	表現⑥ YFC予行練習	表現⑦ YFC修正
学園祭週間								
preparation⑨								

5月17日、体育館では、あるイベントが開催されていた。その名は中間発表会。併せて12もの企画班が、学園祭週間、当日までの活動場所をめぐって、それまで温めてきた企画案を全校生徒の前で発表した。今回のNYMで使用可能な教室は、体育館・武道場・図書室をのぞくほぼ全ての教室だ。ひとつえに教室と言っても、場所によって広さやアクセスの良さなどの違いがある。その使用権を巡って例年行われるのが、中間発表会である。当日の楽しみを残しておくためにも、どんな企画があったのかは記すことができないが、そのどれもが聞いているだけでNYMが待ちきれなくなるようなものであった。今回のやまみい博が、前回よりも多くの人が3つのSHOWを届けられることを、調査班は願っている。

中間発表にて

